

貸借対照表

令和3年5月31日

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	610,469,885	流動負債	355,358,024
		固定負債	463,253,128
		負債合計	818,611,152
固定資産	672,548,083	【資本の部】	
有形固定資産	614,640,147	株主資本	464,406,816
無形固定資産	3,268,000	資本金	10,000,000
その他資産	54,339,936	利益剰余金	454,406,816
繰り延べ資産		純資産合計	464,406,816
資産合計	1,283,017,968	負債・純資産合計	1,283,017,968

損益計算書

自 令和2年6月1日 至 令和3年5月31日

科目	金額
【経常損益の部】	
営業利益	175,550,491
営業外利益	7,529,372
営業外費用	4,556,766
経常利益	178,523,097
【特別損益の部】	
特別利益	1,555,000
特別損失	0
税引前当期純利益	180,078,097
法人税その他の税の額	61,236,711
当期純利益	118,841,386

株主資本等変動計画書

自 令和2年6月1日 至 令和3年5月31日

	資本金	利益剰余金	株主資本
前期末残高	10,000,000	344,498,240	354,498,240
当期変動額合計		109,908,576	109,908,576
当期末残高	10,000,000	454,406,816	464,406,816

株式会社まごころ清掃社

注記表

この計算書類は、「中小企業の会計に会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法 : 時価のないもの 移動平均法による原価法

たな卸資産の評価基準及び評価方法 : 最終仕入れ原価法による原価法

固定資産の原価償却の方法

(1)有形固定資産 定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法によっております。

並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、耐用年数及び残存価格については、法人税法の規定によっております。

(2)無形固定資産:定額法

引当金の計上基準

貸倒引当金債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率に計上するほか個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

収益及び費用の計上基準

収益は実現主義、費用は発生主義により認識しています。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行株式の数 200株

一株当たりの情報に関する注記

一株当たりの純資産額 : 2,322,034円 08銭

一株当たりの当期純利益金額 : 549,542円 88銭